

c f . 四分位法と異常値

データを小さい方から大きい方に並べ、①下から $1/4$ のデータ、②真ん中のデータ（中央値。データの総数が 8 とか 16 とか偶数だと真ん中のデータがないので、そういう場合はたとえば、全体が 8 ならば、下から 4 番目と上から 4 番目を足して 2 で割ったものを中央値とする）、③上から $1/4$ のデータを抽出。①～③を四分位範囲（IQR）と呼び、そこから④上内境界点と⑤下内境界点を割り出し、④より上にあるデータ、⑤より下にあるデータは異常値（外れ値）として除外する。

四分位範囲を用いた
外れ値の検出(箱ひげ図)

